

市町村名	項目 体協加盟 団体数 会 員 数	指 導 者 数				スポーツ 少年団加 盟 員 数 団 体 数	スポーツ 傷害保険 加入者数	項目 市町村名	体協加盟 団体数 会 員 数	指 導 者 数				スポーツ 少年団加 盟 員 数 団 体 数	スポーツ 傷害保険 加入者数
		地教委 担 当 員	体育指 導 委 員	スポーツ 指 導 員	その他 指 導 者					地教委 担 当 員	体育指 導 委 員	スポーツ 指 導 員	その他 指 導 者		
田 島 町	10 1,000	2	15		1 32	1,311	新 地 町	18 500	1	7		3 66	761		
下 郷 町	6 215	1	15		0 0	1,828	相 馬 市	15 2,000	2	13	1	14 276	793		
館 岩 村	4 85	1	6		0 0	279	鹿 島 町	16 240	2	10		30 515	905		
伊 南 村	3 121	1	5		2 101	1,011	原 町 市	13 2,034	2	16	2	21 805	2,527		
桧 枝 岐 村	4 72	1	6		1 15	302	小 高 町	4 400	1	8		12 394	381		
南 郷 村	8 33	1	7		0 0	332	飯 館 村	17 614	1	5	2	9 181	1,255		
只 見 町	7 307	4	9	2	3 69	781	い わ き 市	22 42,927	4	55	3	44 1,028	7,421		
合 計								(129)	(1,037)	(81)		403 13,216	10,041		

第4節 スポーツの振興

1. 第29回国民体育大会冬季大会スキー競技大会

皇太子殿下・同妃殿下をお迎えて「秀峰に明日をひらく」をテーマに「新風・躍進・親切をスローガンとした猪苗代国体は、昭和49年2月17日より20日まで、全国40都道府県より1,865名の選手が参加して開催された。本県初のスキー国体開催であったが、関係者の3か年にわたる努力が実を結んで、盛会のうちに無事終了した。競技会に関する主な内容は、次のとおりである。

(1) 誘致と準備概要

年・月	概 要
44・12	県スキー連盟理事会大会誘致を決意
45・3	猪苗代町議会大会誘致を採決
5	県体育協会理事評議員会大会誘致を承認
9	県教育委員会大会誘致を議決
10	県議会大会誘致を決議
11	財日本体育協会・文部省へ大会誘致を申請
46・5	猪苗代国体県実行委員会開催
6	距離用塩化ビニール用走路完成

年・月	概 要
7	国体委員会において大会開催正式決定
47・3	70m級公認ジャンプ台竣工
5	国体委員会において県実行委員会諸規程承認
8	国体賛歌レコーディング
9	国体委員会において大会要項・宿泊要項等承認
9	国体賛歌発表会
47・10	大回転コース開発
11	大会マーク・シンボルマーク審査・入選発表
48・1	リハーサル大会（第46回全日本学生スキー選手権大会）開催
2	塩沢国体視察
4	大会スローガン決定
7	国体委員会で招待者の範囲・役員編成基準、プログラム編集方針、ポスター図案の承認
7	募金用シンボルステッカー完成
8	募金用バッジ、タイピン等作成
8	ポスター作成配布
49・1	国体リハーサル大会（第26回福島県総合体育大会）開催
2	国体スキー競技抽せん会
49・2	豪雪対策会議 総合案内所開設 第29回国体スキー競技会
3	県実行委員会開催

(2) 大会参加人員

本大会に、国体スキー史上最高の1,865名と221名の視察員が参加したが、種目ごとの参加人員は、次のとおりである。

種 目	大 回 転				15 km				6 km		複 合			飛 躍			リ レ ー			計
	少年	壮年	教員	女子	成年	少年	壮年	教員	女子	成年	少年	壮年	成年	少年	壮年	教員	一般	少年	女子	
スキー	83	77	109	181	152	48	33	104	64	53	9	68	54	17	18	188	149	90	1,858	